

この山のセールスポイント	東北の白き貴婦人を楽しむ		
--------------	--------------	--	--

4月30日(日) 微風・快晴	起床 5:00 袈川駐車場 6:15 ~新山 9:40 ~デポ地 10:00~七ッ釜避難小屋 11:40~駐車場 11:10⇒猿倉温泉 12:00/14:00⇒月山姥沢 19:35		
-------------------	---	--	--

参加者	後藤隆徳	53	憧れの山スキーの山。素晴らしい!	体力・技術	③
	加藤秀子	51	素晴らしい登山。ワクワクものだった	展望	⑥

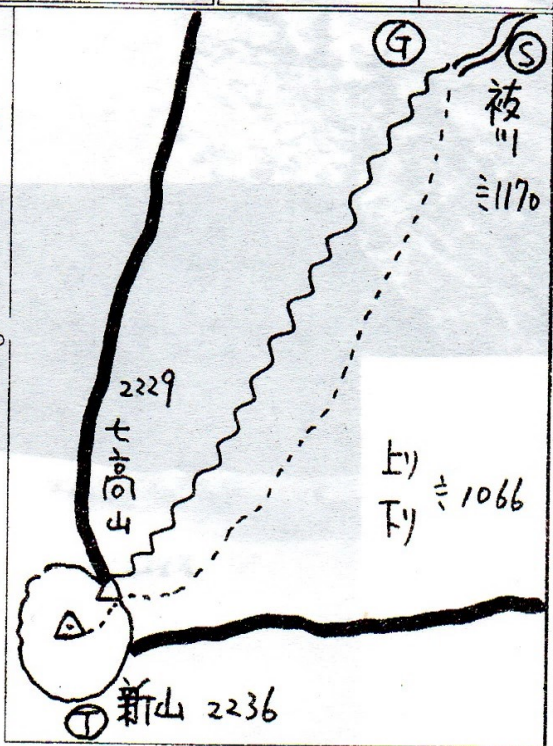
第三 山は快晴だった。駐車場は既に満パイ。雪の壁は5~6m。目の前の壁の階段を登ると、鳥海山の大雪原が広がっていた。前方にスキーヤーと登山者が何人か目見えた。此処から私達の53名抜きが始まった。

とにかく富士山に似た大雪原を上を上グングンと登る。帰りはあすこを、ここを、ああして、こうして滑ろうと、思い巡らしながらの登行は楽しい。30名程の登山者を一気に抜く。この時期スキーがベストだが、登山もそれ程もぐらないのでマママだ。七合目位から昨日の新雪が積もっていた。今頃の新雪は重くて悪い。

更に何人か抜いて外輪山の急登にかかる。先程迄あんなにいた登山者はもう一人しかいなかった。加ト一が数えたら53名抜いたそうだ。スキーを脱ぐ。この辺りは左手程楽なので左に左に逃げる。おもむろに外輪山最高峰・七高山に飛び出た。群馬からのスキーヤーが一人座っていた。ここに荷物を置き新山に向かう。大量の残雪の新山は夏のそれと較べようもなく登り易い。頂上でバンザイ。目の前に酒田の街と日本海が広がっていた。3回目の頂上だ。

外輪山に帰ると、先程抜かした50名程がいた。9割方新山に向かわないのは何故?あくまで「登山者」である私達は、何時でも「頂上」にこだわりたい。50名程のギャラリーを前に私が滑降開始。気温は0度。この位の温度がサイコーの雪面になる。硬くも軟らかくもない超快適なターンが決まる。サイコーだ。

振り向き加ト一に『どうぞ』とアイコンタクト。加ト一、ギャラリーを意識したかズッコケタ。まゝこれも御愛嬌。後はのんびり楽しみながら下るのみ。それにしても沢山登って来る。皆のんびりしたものだ。七ッ釜避難小屋でビールを飲む。駐車場で労山マークをつけた車を2台発見。宮城労山だった。猿倉温泉入浴後、月山姥沢に向かう。



加藤ひと言 夏に登った荒々しい鳥海山の面影は全くなく、外輪山のゆるやかな雪のカーブに、岩についた見事な(えびの尻尾)に感動!ギャラリーを意識しすぎて出だしはズッコケタが、直下の一枚バーンは超快適。あまりに雄大な自然に嬉しさが弾いた。

※後に宮城県連・朋友会の会報に日本海の下飛島が見えたとありました